



ドローンを使った農薬散布の実演を見学する参加者＝豊後大野市大野町片島

豊後大野のサトイモ畑で実演会

ドローンで害虫防除わずか10分

【豊後大野】ドローンを
使ってサトイモの害虫防除
をする実演会が22日、豊後
大野市大野町片島の農場で
あった。農家の高齢化や担
い手不足が深刻化する中、
労働の軽減や作業効率アッ
プなどにつなげようとJ A
おおいた豊後大野大和里い
も部会（佐藤吉行部会長、
59人）が開いた。

部会員や行政関係者ら約
30人が参加。本年度、ドロ
ーンを導入して農薬散布の
受託作業を始めた市農林
業振興公社の職員が約40
坪の畑で実演。「手動で
農薬散布をすると半日はか
かる」（参加者）という作
業をわずか10分ほどで終え
た。

（山田志朗）

〔問①〕ドローンを使った農作物の害虫防除を行う目的はなんですか。

（農家の高齢化や担い手不足が深刻化する中）労働の軽減や作業効率アップにつなげるため

〔問②〕手動で農薬散布すると半日はかかるという作業を、ドローンで行うとどのくらいの時間でできましたか。

10分

〔問③〕ドローンを使う時のデメリットとメリットを記事の中で探して答えましょう。

デメリット：風の強い日は隣接する畑にも飛散する可能性がある
メリット：早く、楽にできる